



処女11回目
— 前編 —





対器官拒絶なし、
免疫系平常。

150bpm、血圧低下

呼吸8、呼吸器
に切り替えます

第1意識昏睡、
第2・3の自立干渉
を始めました。

受容体反応
停止……

末梢神経
応答してません



アセチルコリン
ΔG_{ATP}を使い
切ったか……



ゆら……



ガッガッ……



投薬・加圧停止、
代謝処理に移れ

切開は
見送りだ



14か……

ロスモンティスさんは
月1でアーツ適化の
施術を受けている。

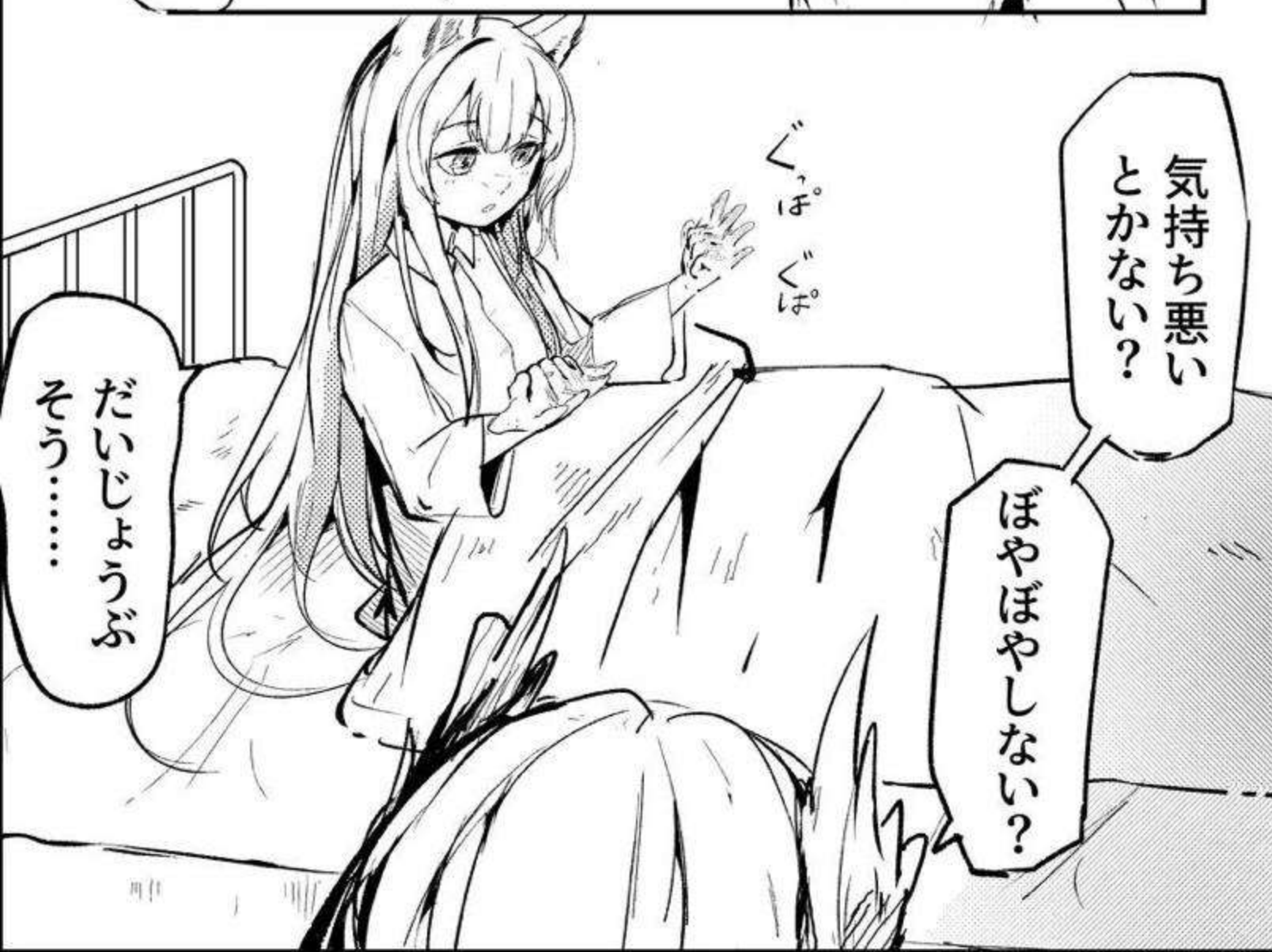
ケルシー先生は
「意識調整処置」と
呼んでいる処置だ。

自分も完全に理解して
いるわけではないが
彼女は自身を含め3つの
意識で自我とは別に
感覚を構築・利用している

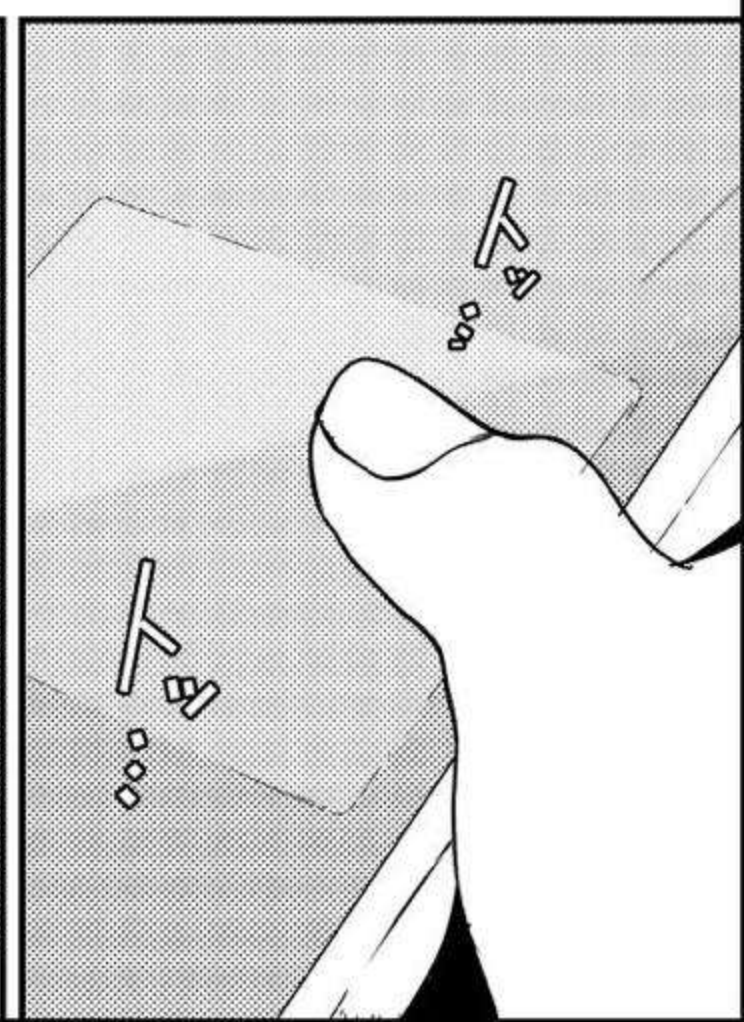
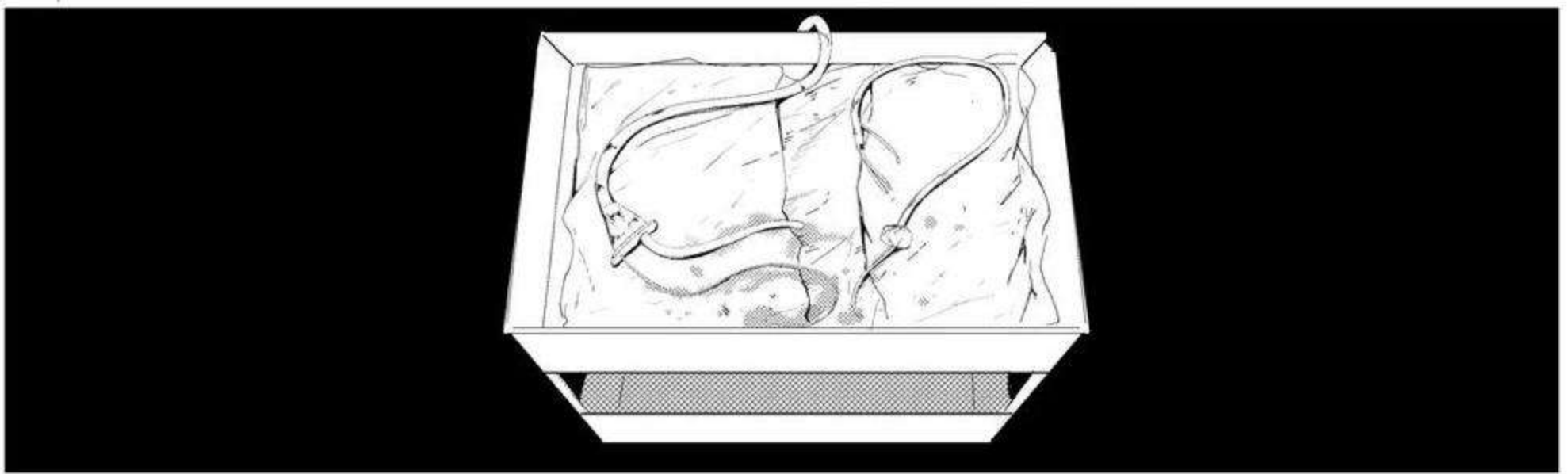
まだ14才と若い故、
彼女を守るためにも
全身麻酔を打った上で
の施術だ。

あれだけ万学に
精通した先生でさえ
この子の状態の
完治はおろか

再現さえ出来ない
という……







…?
どうしたの…

…!?

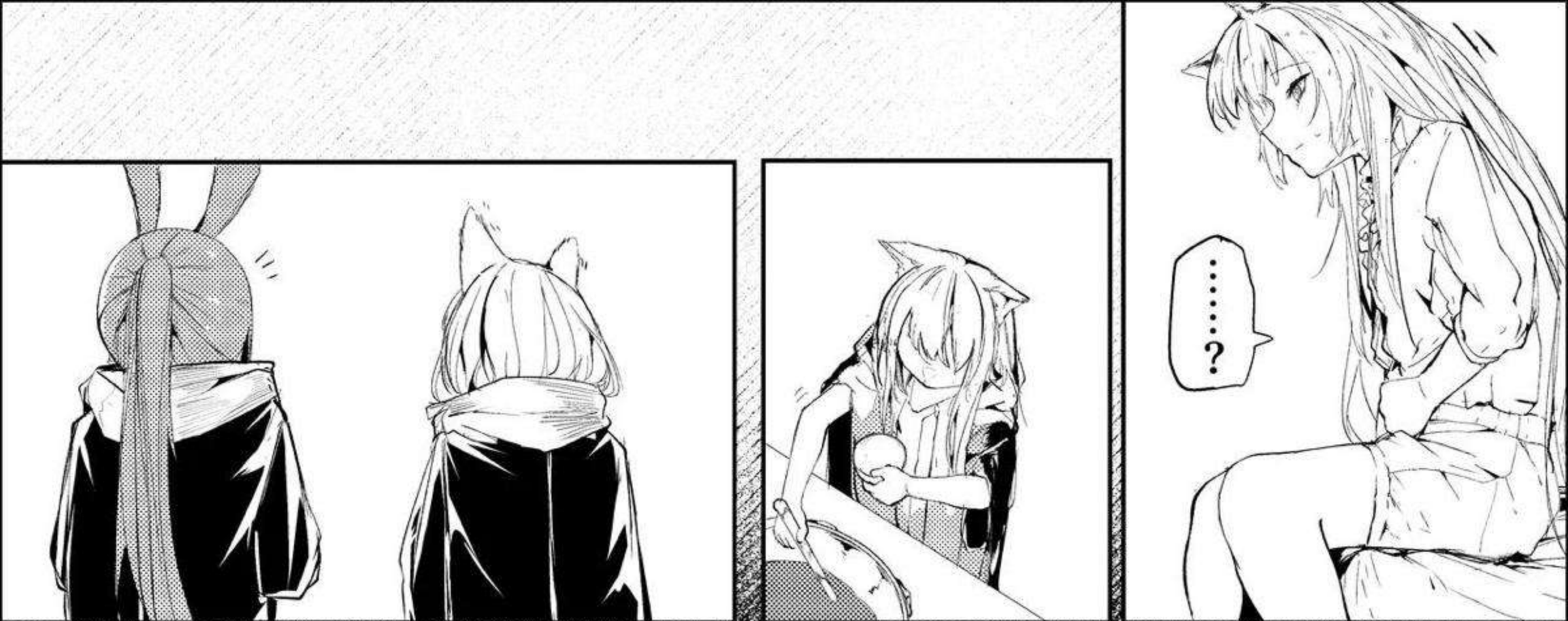
ひゃ…!!

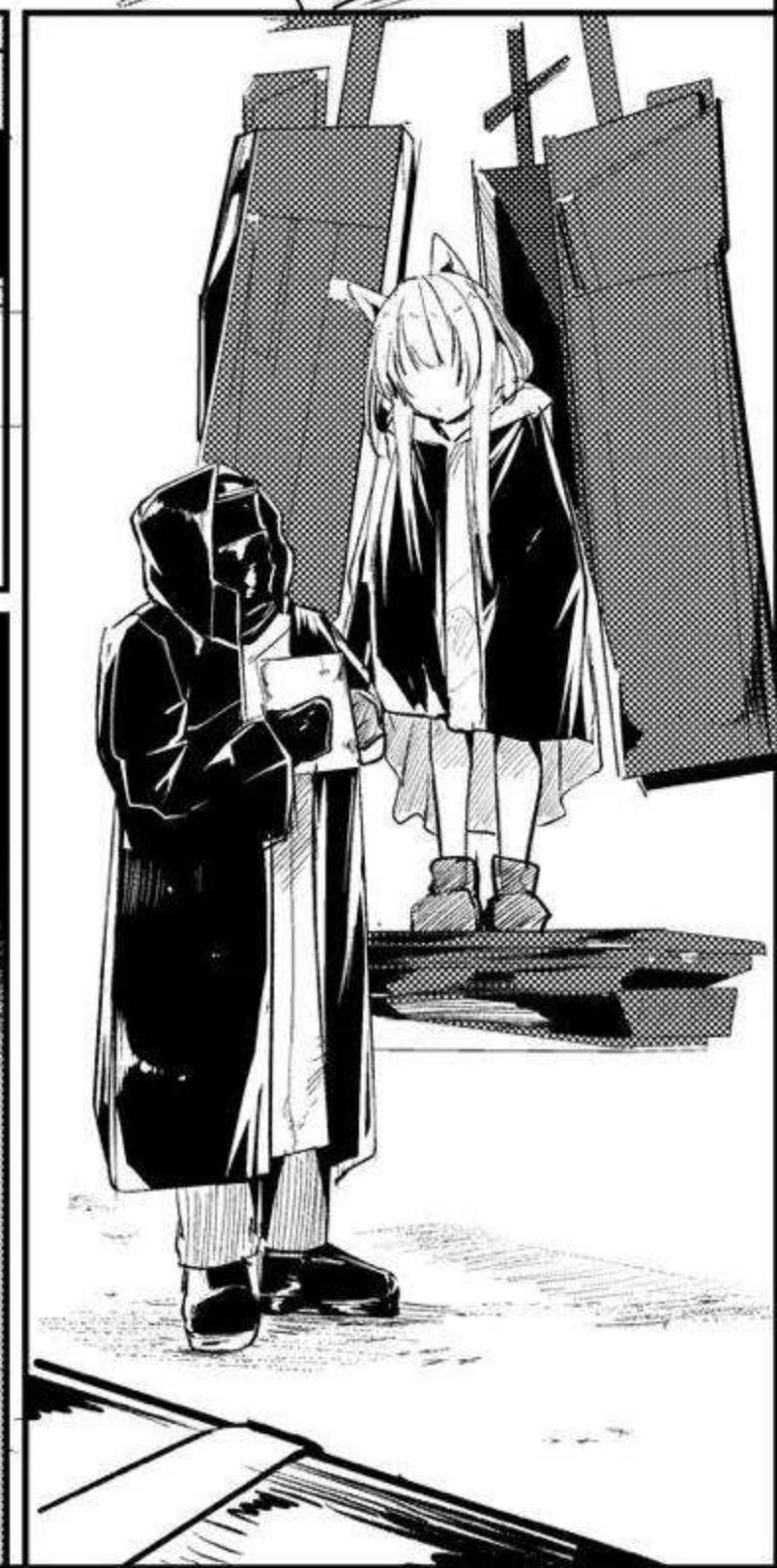
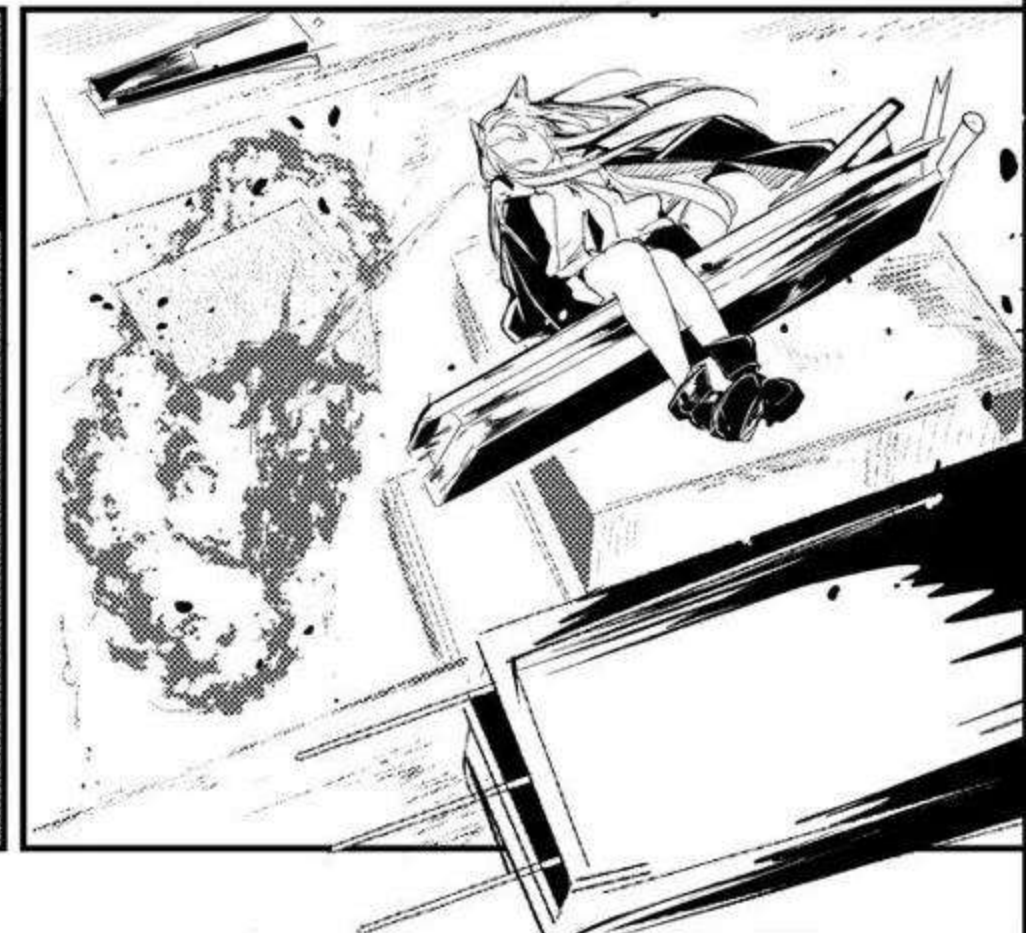
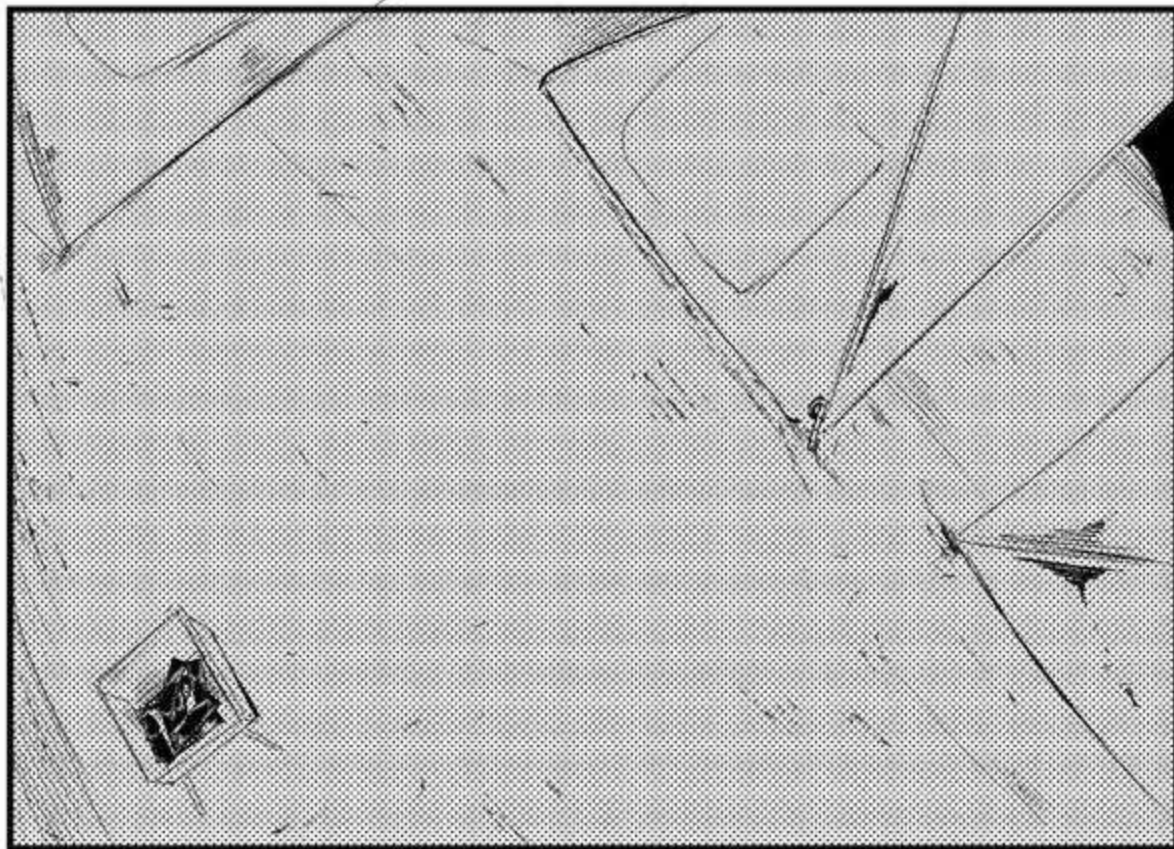
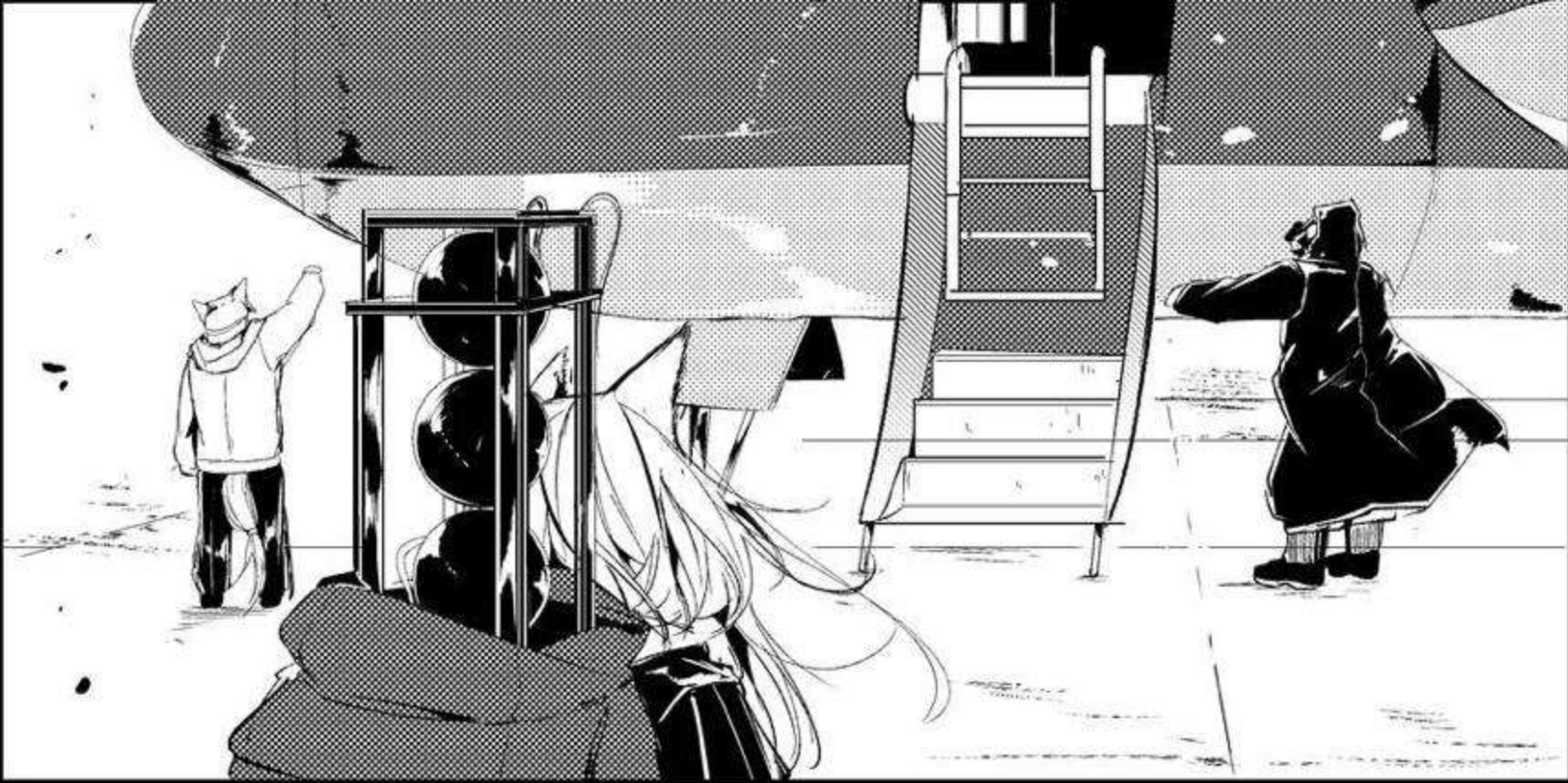
やめて…変なところ…

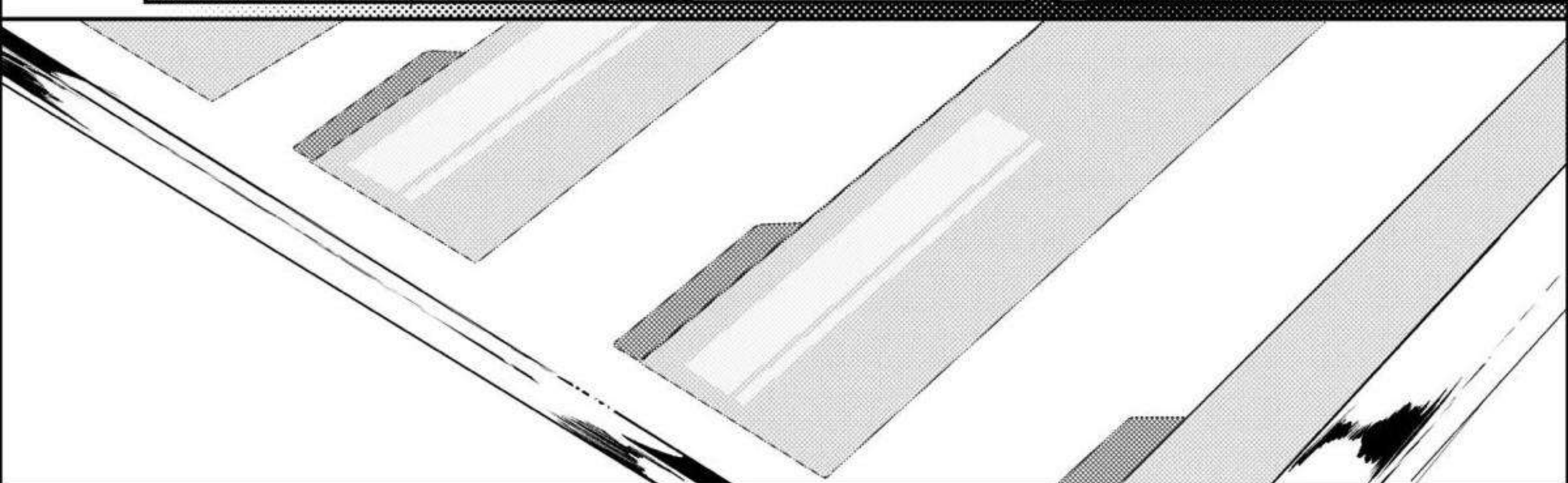
さあ

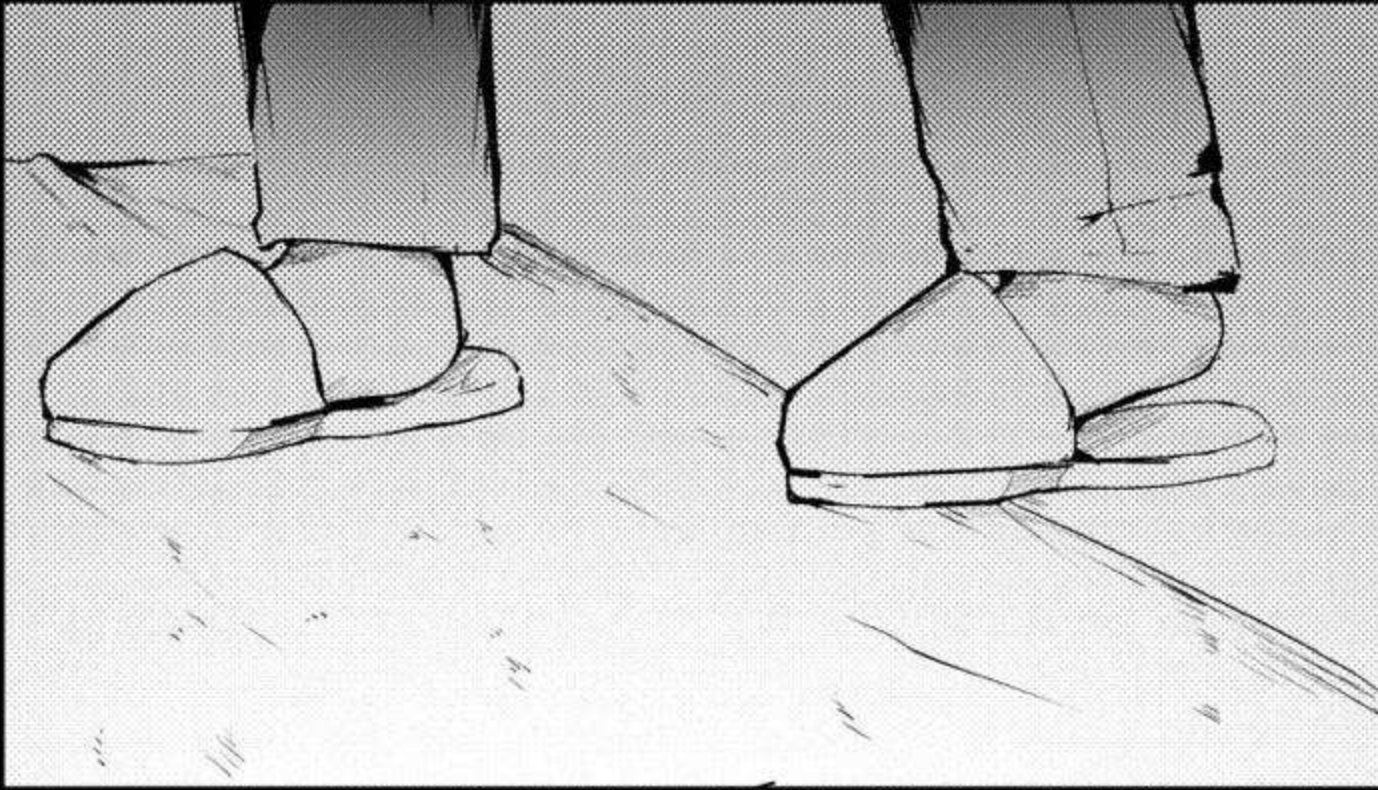
















...

ぱじゃま...だめ...

や...!!

グッ

なに...

なんなの...?!

なにをするの...

や...

まって...

こわい...!!

めっちゃ...

スト

